

市内の出来事

県南部地域産業活性化協議会を設立

～ 地域内の企業の活性化と新たな企業の立地を目指して ～

つくばみらい市、取手市、利根町の2市1町は、2月19日に茨城県南部地域産業活性化協議会（会長・飯島善つくばみらい市長）を設立しました。協議会には、2市1町の首長のほか、茨城県、キヤノン（株）、常陽銀行からも参加しています。協議会は、平成21年度から5年間に、地域内の既存企業の活性化を図ると共に生活関連産業、各種機械産業などの新たな企業の立地を目指すものです。

●基本計画の概要

協議会は設立と同時に、活性化に向けた基本計画を策定しました。この計画では、2市1町すべての地域を企業誘致区域としたうえで、特に企業立地を進める区域を15地区255・5畓と指定しました。市では、（株）クボタおよびパナホーム（株）が立地している福岡地区など5地区154・3畓が対象となります。

具体的な達成目標は、企業立地（既存企業の事業拡大のほか新規も含む）を20件、新規雇用人数を1000人と定めています。

●優遇措置等

この基本計画は国の同意が必要であり、認められると、地域に企業が立地する際、設備投資に対する減税措置や低利融資など各種優遇制度を受けることができます。

●今後の取り組み

3月号でお知らせいたしました、市では福岡地区の工業専



設立総会の様子

自然環境の保全に貢献！

～ 不法投棄防止功労者表彰に瀧澤忠直さん ～

市内在住の茨城県U・D、監視員（U・Dとは、不法投棄の英語訳「Unlawful Dump」の略記）の瀧澤忠直さん（絹の台）がこのほど、長年にわたり不法投棄防止活動の功労が認められ、平成20年度茨城県表彰を受彰されました。

瀧澤さんは、10年以上の長きにわたり、小絹地区での不法投棄の監視活動を行い、この地区への不法投棄を未然に防ぐとともに、地区の自然環境



橋本県知事より表彰を受ける瀧澤さん（写真右）

の保全にも積極的に貢献されてきました。

地球のこと、子どものうちから考えよう

～ 市民ボランティア、温暖化防止を紙芝居でうったえる ～

市内のボランティア団体「清流会（会長 占部雄一郎氏）」は、昨年度に市内の小

学校のうち4校を巡って、児童たちに対し、紙芝居を通じて地球温暖化防止を訴えました。

どの小学校の児童たちも、自分たちが温暖化防止のために何ができるかを学ぼうと、紙芝居に熱心なまなざしを向



谷井田小児童たちを前に紙芝居をする占部さん